

広報

カナダ

毎月1日・15日発行

CONTENTS

- 2~5ページ 体験! 救急講習
- 6~7ページ まちのわだい 田川郡民体育大会結果 ほか
- 8ページ こんにちは保健婦です 脳卒中を予防するコツ
- 9ページ 年金だより こんなとき届け出を
- 10~11ページ みんなのひろば はっぴーバースディ ほか
- 12~15ページ 暮らしのインフォメーション
- 16ページ まちの伝説&むかしばなしほか
上金田伝説その三 ほか

KANADA Town Monthly Magazine

1996 NO.308



基礎
何でも、土台が大切なんです。

写真は6月16日に行われた金田中学校体育祭の男子全員による組体操のときのワンショットです。

土台の生徒をねらってシャッターを押しましたが、組体操でも勉強でも、やっぱり土台(基礎)が大切なんですよね。

8/18号

あなたの大切な人が いま、倒れたら……。 助けることができますか？

いま、あなたの大切な人が、突然、心臓が
塞などで倒れてしまいました。呼吸も心臓も
止まっています。

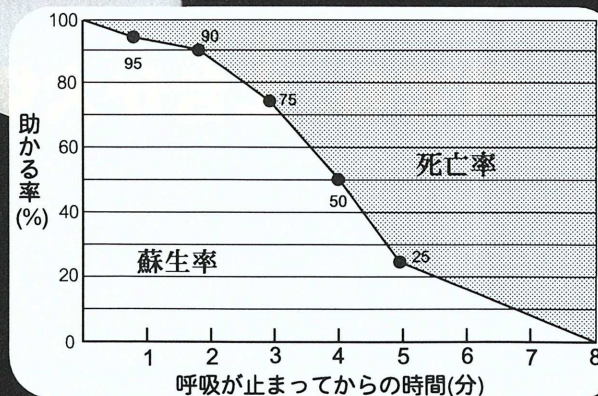
さあ、救急車は呼んだものだいじょぶ？

右のグラフは、呼吸が止まってからの人工
呼吸による救命率(ドリンカーの生存曲線)を表
したものです。

全国では、119番通報を受けてから、救急隊が
現場に到着するまでに平均5.7分かかってしま
います。この時間をグラフで見ると、蘇
生率25パーセントを下回ってしまうのです。

もし、救急隊が到着する前に友人や家族の
手による応急手当が行われれば、大事な命を
救える可能性が出てくるのです。

今月号では、田川地区消防本部が行ってい
る救急講習会の模様を紹介します。



この収録は、7月13日に金田町役場で行われたものです。
田川地区消防金田分署の藤田 誠さん(救急隊分隊長)と、
山口 隆さん(同副分隊長)を講師に、3時間の普通救急講習
を体験しました。

参加したのは、藤本成美さん、田中優子さん、高橋成子さ
ん、役場職員13人と大井翔太くん、大井静香さんの二人の
中学生も受講しました。

救命に必要な応急手当とは

ケガや病気で、突然に意識不明、呼吸停止、心肺停止がこれに近い状態になったときや、大きな出血によって生命の危機に陥った
ときに命を救う手当をいいます。救命に必要な応急手当には、心肺蘇生法と止血法があります。簡単にいいますと、皆さんや私た
ち救急隊が患者さんを医師に引き渡すまでを応急手当といっています。

心肺蘇生法には、①気道(空気を肺まで送る通り道)の確保 ②人工呼吸 ③心臓マッサージがあります。

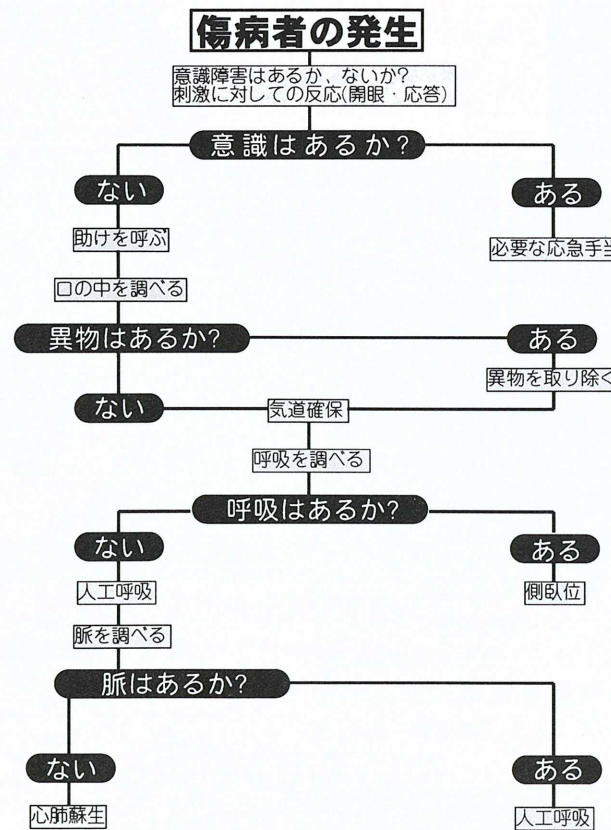
止血法には、①直接圧迫止血法 ②止血帯法の二点がありますが、今回の普通救急講習では、心肺蘇生法の講習だけです。

救急車が現場に到着するまでに全国平均5.7分かかってしまいます。ドリンカーの生存曲線を見てみますと、この時間帯の生存
率は四人に一人なんです。医師や救急車が来るまでに、皆さん方がけが人に救助の手をさしのべることが最も大切なことです。

欧米では、早くから住民に対する救命技術の普及が行われています。しかしながら、日本では人前で行う応急手当、特に心肺蘇
生法の習得の必要性や理解がまだ十分ではないのです。

それでは実際に実技で体験してみましょう。

心肺蘇生法の手順



1 意識の確認

傷病者が発生したら、意識があるかないかを確認します。
倒れている傷病者に近づき、片方の手を額に当て、もう一
方の手で肩をたたきながら「大丈夫ですか」とか「もしも
し」と言って呼びかける。



2 助けを求める

呼びかけなどの刺激に対して反応がなければ、意識障害
があると考えて、大きな声で「だれか救急車を呼んで！」と
助けを求めます。